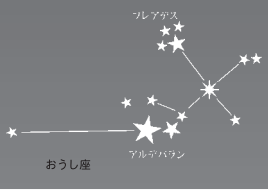

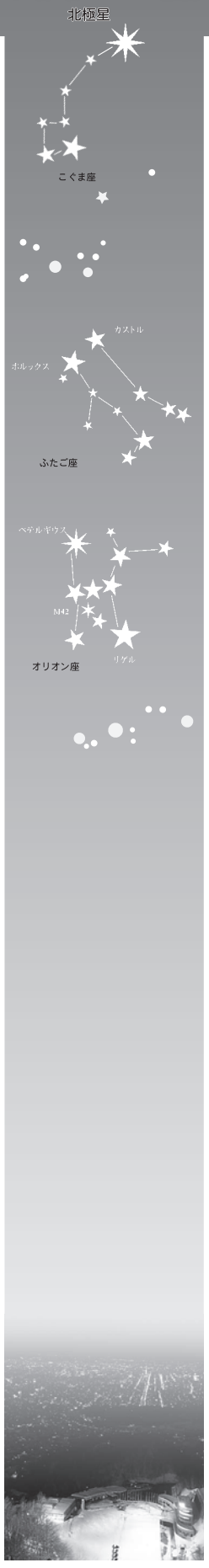

さかなをなめるな

北広島医師会 会長　對馬（つしま）　伸泰（のぶやす）

子供のころから魚釣りが好きだった。小学生のころ学校から帰宅するとよく近所のため池に行った。途中土を掘り起こし餌となるミミズを確保する。狙う獲物はフナやコイなのだが釣れるのはいつも小さなカジカ。それでも釣り糸を垂らしているのが楽しく日が暮れるまで没頭した。

10年ほど前また魚釣りがしたくなりフィッシングボートを購入した。妻や母には危ないと反対されたが強行突破した。実は当時海にさえ出ればどこに行ってもさかなが釣り放題とまじめに信じていた。

初心者が最初にトライするさかなはカレイである。私も早速カレイの仕掛けを用意し釣りを始めた。時期にもよるがカレイ釣りは比較的釣果もいい。しばらくカレイ釣りをする期間が過ぎたころ、マリーナの仲間がソイを釣っているのを見て私も挑戦してみたくなった。仕掛けの作り方をならい意気揚々とソイ釣りに出掛けた。ポイントといわれる場所に陣取り、さあ釣るぞと意気込んではみたものの待てど暮らせどあたりの一つもない。このようなぼうずが毎回続きこのままではいけないと思い、同じマリーナの釣り名人の船に同行させてもらった。結果はなんと55㎝のデカソイを釣り上げてしまったのだ。ビギナーズラックではあるがこの時ポイント取りの大切さを学んだ。小樽の漁礁は一つ一つのポイントがとても狭い。船は風により簡単に流されるので当然時間がたつとポイントから外れる。彼らはアンカーをポイントに入れて船をきちんと固定していたのだ。私は最初ポイント上にいてもすぐに流されてしまい、結局ポイントから外れた場所で一生懸命竿を振っていたのだ。

魚も生き物である以上いろいろな特性を持っている。魚群探知機で魚群を発見しラッキーと思い餌を落としても全く食いつかないことがある。確実に真下にいるのにだ。まずめの時間帯からはずれていたり、潮の流れが止まっていたりすると全く食いついてこないことはよくある。さっきまで食いつきがとてもよかったのにぴったりあたりが止まったりするのはこのせいだ。

最近はジギングという疑似餌を使った釣り方が流行している。あたかも本物の魚が泳いでいるように見せかけて誘うのだ。スポーツフィッシングの一種で腕の差が出やすい。私も最近はジギングにはまっている。

魚釣りは海に釣り糸を落とすと自動的に釣れるような甘いものではない。海の中の魚が今どのような状態なのかを想像し、今日はどのような餌を好むのか試行錯誤してようやく釣れるのだ。

いまでもぼうずの日はたびたびあるのだが小学生の日に戻ったように楽しんでいる。

歌で老後の余生を

渡島医師会 会長　渋谷（しぶや）　好孝（よしたか）

高校生の時、受験勉強の間の大切な息抜きは、「明星」の付録についていた歌詞カードを眺め、プレゼントで手に入れたギターを弾きながら歌を歌うことでした。歌詞カードにはギターのコードなどはついてくるはずもなく、Mr. デーブマン率いるラジオの音楽番組を録音したり、松山千春のラジオの歌声を聞いたりして耳コピでコードを紐解き、自分なりに歌っておりました。

高校の学校祭、松山千春の「私を見つめて」（記憶がはっきりしないが）を一人で歌う機会を得ました。体育館の舞台の上で最初の数小節歌ったところで会場が「しーん」となったのです。この時の快感を今でも忘れません。田舎出の一人の坊主が270人の頂点に立ったそんな気分と言ったらいいでしょうか。

大学に行っても、医師になって地方を回っているときも、宴会要員として歌を歌うことはありましたが、誰も真面目に聞いてくれることなく、「しーん」とすることもなく過ごしておりました。

「もののけ姫」がヒットした年、NHKの番組で米良美一さんの発声の仕方というものをやっていました。真似したら出るじゃないですか。その時、発声の仕方が全く違うことに気づかされました。喉を開くということです。どうやって練習するのかわかりませんでしたが、ある時YouTubeで動画を見つけ手当たり次第練習いたしました。

函館に来てから、ゴルフ仲間にピアノバーがあるのだけど行ってみる？と言われたのが10年以上前。キーは合わせてくれるけど、リードのない伴奏で歌う店です。ある日の喧騒の中、歌い始めるとあの「しーん」が帰ってきたのです。心は天国でした。やったぜ！

以前、この雑誌の投稿欄に「コロナ禍で僕は歌手になった」との一文があり、ソフトを使って全国の人に聞いてもらって、投げ銭もいただいているとか。

医師会長の任が終わったら、自分もいつの日か全国デビューしたいです。